

# 神代之風



発行：玉置神社  
発行人：弓場 季彦  
TEL 0746-64-0500  
FAX 0746-64-0429

12月31日 年越大祓・除夜祭  
1月 1日 歳旦祭

夏越の大祓 6月30日斎行。昨年の天候は雨  
参拜者300名。雨の中でも「茅の輪くぐり」に60  
名参列。今年の天候は曇。参拜者は350名。茅の輪  
くぐりには120名が参列。昨年より倍増の参列  
者数。茅の輪くぐりの由来・効用・くぐり方の説明板  
を掲示しておくこと関心をより高めるのか、茅の輪を  
数日前から設置しておきました。大祓当時までの  
間も多くの参拜者の皆さんが茅の輪をくぐっておら  
れた。  
大祓の祭典後も数日間そのまましておきました  
が茅の輪の需要はなかなかのものです。「茅の輪神  
事」だけでなく「切麻・人形神事」「御焚上神事」への参  
列者の関心の強さもひしひしと伝ってきました。  
7月1日からは祈禱所において「夏越大祓特別祈  
禱」を1カ月間続けることとしました。リセットして  
下半期へ新たな歩み楽しみますね。  
皆様、ご参拝ありがとうございました。



可愛いお子様も左足からと諭され、祓言葉を唱えながらくぐっていた。

本殿前広場  
参拜者で賑わう！

茅の輪くぐりには120人が参加

# 夏越大祓



まだまだつづく人の輪

# 玉置山文化サロン

## 出雲の阿国さん

出雲の阿国の墓所は何度か訪れ、自分なりのイメージで彼女の活躍を楽しんできた。このたび案内してくださる方がいて、阿国が出雲に帰り剃髪して智月尼となり晩年を過ごしたといわれている安養寺を伺えた。そこで阿国が使っていた手鏡、数珠等を拝見させて頂き歌舞伎ファンとしては感激もひとしお。また、連歌も楽しまれていたという連歌庵へ。それはやすらぎか。



安養寺で親切丁寧にご説明くださった方々、案内してくださったドライバーの方、ありがとうございました。

**阿国寺“連歌庵”**  
THE TEMPLE CLOSELY CONNECTED WITH OKUNI ANOCHI TEMPLE.

連歌庵の始創として一生を費やした白道阿国は、晩年入道に専念し、連歌を興し、その功徳を積んだと云われる。この草庵は阿国寺“連歌庵”と呼ばれるようになった。

連歌庵はもと中村町にありましたが、中村の大火で焼失してしまい、復原に当たって安養寺の手に再建されましたが、その後、二度焼失をおまつるため、ここに移築されました。

After closing BENGA-IN, where Inoue Anko passed into her 100-2000, of her status of KANZEN and her intention was kept in this temple. From only 2000 of status of KANZEN, among others her family shrine and prayer beads.

Every year to witness a memorial service is held by those who love Anko.

出雲市

## 台風8号接近！

数十年ぶりに大規模台風接近中とのことで出張先から急遽戻る。



8日には台風対策のミーティング、その対策を徐々に構じていく。9日、10日は、これまでがない体制を敷く。少ないながらも職員のみで対応。家の事も気になったであろうが全員一丸となる。境内くまなく何度も一斉にパトロール。夜は通常の2倍の人員で泊まる。夜も一斉パトロール実施。社務所、宿坊は全て雨戸を閉じる。社務所は国指定重要文化財であり、杉の巨樹群は県指定天然記念物。老朽施設、千年単位の樹齢の巨木をどう守れるか。恐怖の二夜であったが幸い手ひどい打撃は受けなかった。

11日、台風も通過しており全員で一斉に境内と周辺をチェック。玉置山の神々がお守りくださったのかとの想いも強し。非番の職員も駆けつけるなど職員の心も一つでした。されど他地域の状況いかにばかりかと心は痛む。(7月11日記録)



## 神社日誌抄

毎月1日は出雲大社玉置教会15日は三柱社、24日は本社、8日は大日堂社の月次祭を執り行っています。

6月16日 責任役員前坂さん、稲田さん、森さん「茅の輪」を作製

6月19日 出雲大社教分詞長 大教会長 教会長 支会長 平成26年役員会協議会に出席のため18日まで出張

6月21日 坂本税理士事務処理のため来社

6月23日 朝日旅行ご一行17名が参拝

6月25日 鶴工舎 境内建造物調査見積りのため来社

6月26日 共同通信社矢頭氏、宮司インタビューの打ち合わせのため来社

6月28日 奈良県教育委員会事務局文化財保存事務所 佐坂さん他3名が建造物調査のため来社

6月30日 朝日旅行ご一行9名が参拝

6月28日 和太鼓奏者原田嘉子さん他1名が来社 8月25日、本殿前広場にて奉納演奏決定

6月30日 共同通信社 矢頭さん来社、宮司にインタビューする

7月 6日 夏越し大祓午後3時より執り行う120名が参列

7月 7日 十津川村復興協力隊の横山氏来社、ボランティアで夏越大祓の後片付け協力

7月 11日 十津川村観光振興課神谷さん、縁活ツアーの方々23名を案内

7月 14日 十津川村観光振興課横山さんが、早稲田大学の方々13名を案内され参拝

7月 17日 クラブツーリズム40名が参拝

7月 18日 台風後の被害調査を行う本殿7か所に雨漏り確認

7月 22日 巨樹群に被害なし 県及び村各教育委員会に被害報告をする

7月 15日 前奈良県知事柿本善也氏 正式参拝の為来社

7月 17日 奈良新聞社主催で28名が正式参拝

7月 18日 名古屋の竹森康二さんが、うるしぬり・金箔 額「天祥」を奉納

7月 19日 東南院の方々26名が参籠のため来社

7月 22日 18日 19日両日阪本税理士来社

# 柿本前知事正式参拝

柿本善也  
前知事ご夫妻  
7月14日  
正式参拝  
かねてより  
御来意は何  
つていまし  
たがようやく  
実現。  
朝から小  
雨も通り過  
ぎお陽様も  
輝き風も心  
地よかった。



青山参与が祭典をつとめそのあとご夫妻は神代杉、襖絵、三柱神社、出雲大社玉置教会とたんにねんに回り、おたずねもあり興味津々参拝されておられた。ご案内して来られた田井中さんもカメラ持参でしっかりと探訪。

# くにとたまの会

「くにとたまの会」は大國主大神を奉斎する神社を会員として組織されている。玉置神社は明治19年以来、出雲大社玉置教会と密接にかかわってきている。大神神社鈴木寛治宮司さんにご紹介いただき入会。そしてこのたび初めて総会等に出席。交流と視野を拡げるありがたい時間でした。「樺太の神社」をテーマのご講演。興味深く拝聴。拝見。現在と過去のスライド。インパクトあり。  
南樺太にこれほどたくさん神社があったとは驚き！  
昔を今に返す束の間の旅をした心地。



北海道神宮にて

# うるしぬり・金箔 額「天祥」奉納

漆塗り職人として活躍の紗和みつる氏(作家名)



本名竹森康二氏は、過ぐる年玉置神社参拝の折り、作品創りのインスピレーションを頂き今年初個展を開くことができましたと御礼に来社。うるしぬり、金箔の額「天祥」を奉納されました。いかがでしょうかこの輝きは！

# 東南院の皆さん26名(女性2名)がご参拝 修験道修行。



毎年ご来社される。大先達五條良知氏をリーダーのものと、お疲れは全く感じさせることなく整然と修験者のファッションもびしりと決まる。このご縁いつまでも、ありがとうございます。

# 新十津川村児童生徒、教職員の皆さんご参拝

本年も、ご参拝いただいた。村内で見ていただきたい所がたくさんあり、スケジュールはタイト。ご説明する時間はなかったが子供達ははじけるように元気、境内に元気な声が暫し満ちあふれる。  
帰りは整列して「ありがとう」のごあいさつを子供達からいただいた。玉置の山々にもたくさんエネルギーをいただきましたね、皆さんお元気です、そしてたくましく成長してください。





宮司あいさつ

茅の輪くぐり



玉串奉奠



忌火点火

御焚き上げ

# 夏越大祓



祓物を執り裂く

神事を見守る参列者

